

特集1
福島競馬場改修工事レポート
特集2
馬房を効率良く回すための
”外厩”との付き合い方

人
三
一
新

2012 volume 139

どんばいったい 春号



05

特集1 福島競馬場 改修工事レポート

- 03 巻頭言 本会会長 下田穰一郎
- 04 巻頭言 福島競馬場場長 時任淳信
- 16 福島探訪
スパリゾートハワイアンズ
～震災復興のシンボルとして～
- 18 馬の体～その最先端～第15回
「ポリトラックコースが
馬体に与える影響」
- 22 **Victory Circle**
会員優勝馬情報
- 30 福島馬主協会事務局より
●平成24年度定時総会
●小倉競馬場視察研修旅行
●秋季馬主研修会・懇親会
●平成23年度 中央競馬馬主
社会福祉財団助成事業
助成金決定通知書贈呈先一覧
●バーデンレーシング関係者との交流
●新規入会会員紹介
●活動報告
- 34 J R A インフォメーション
●JRAからのお願い
●馬主登録取消ガイドラインの
改正について
- 35 ホームページ開設のお知らせ
編集後記



特集2

馬房を効率良く回すための

12

“外厩”との付き合い方



福島馬主協会会長
下田 穰一郎

四月七日から第一回福島競馬が開催されることが決定いたしました。この開催は馬主だけではなく福島市の経済界にとっても待ち望んでいた開催であります。馬主の皆様方も福島復興のためにも応援の程、お願い申し上げます。

今

冬は殊更厳しい寒さでありましたが、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝、

ご隆昌のことと衷心よりお慶び申し上げます。

昨年三月十一日に発生しました東日本大震災は、特に東北地区の太平洋沿岸に想像を絶する被害をもたらしました。震災直後の週にはすべての競馬開催が中止され、その後も一ヶ月余りの間、東日本地区での競馬も中止となりました。なかでも福島競馬場の被害はとくに大きく、年内に開催を予定していた一〜三回福島競馬はすべて中止されました。これを受けて福島馬主協会は交通アクセスも儘ならぬなか直ちに理事会を開催し、福島実理事を委員長に災害復興特別委員会を立ち上げ、福島競馬の早期再開、被害を受けた会員の救済、社会情勢への配慮等の活動を開始いたしました。この福島の被害に對しまして、日本馬主連合会をはじめ、各馬主協会から合計四千万円近い義援金を頂戴いたしました。厳しい経済の中にもかかわらず馬主の皆様

様方、競馬サークルの方々が一体となつて福島支援をしていただきましたこと改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

お蔭様で福島競馬場は、昨年九月から本格的な復旧工事が始まり三月末には工事完了となり、四月七日から第一回福島競馬が開催されることが決定いたしました。この開催は馬主だけではなく福島市の経済界にとつても待ち望んでいた開催であります。どうか馬主の皆様方も福島復興のためにも応援の程、伏してお願い申し上げます。

今年は一八六二年に競馬が始まつてから一五〇年を迎えます。この記念すべき年の福島競馬の再開、万全の体制で皆様をお迎えできるよう福島馬主協会一同は、JRA、調教師会、騎手会、福島競馬振興会、商工会議所、関係各位の皆様共々懸命な努力を続けております。

馬主の皆様におかれましてはどうか愛馬を福島へ出走させて下さい。皆様方の更なるご隆昌、愛馬のご活躍を心から念じまして、ご挨拶いたします。

巻頭言

kantougen

1

より多くのお客様に
ご来場いただくために、
競馬場としてこの開催の
キャッチフレーズを
「再開、そして再会。」と銘打ち、
馬主の皆様をはじめ
関係者のご協力のもと
様々な催しを実施する予定です。



福島競馬場場長
時任 淳信

巻頭言 kantougen

2

こ
の冬は寒さ厳しく、福島
島の町も幾度とない積
雪に見舞われましたが、
ようやく日差しの温
かさを感じられる季節になりました。

東日本大震災から1年が経過し、
福島競馬場の復旧工事もいよいよ
ゴールが見えてまいりました。

私も職員は震災直後から被災者
受け入れ等の地域支援に取り組みな
がら、復興へのステップをひとつひ
とつ歩んでまいりました。まず最初
に4月23日の払戻業務の再開、次に
6月25日の馬場内投票所での場外発
売再開、そして10月29日のスタンド
1階部分への場外発売エリア拡大な
どです。

そして今年3月末のスタンド復旧
工事竣工の後、4月7日に最終ス
テップである福島競馬の再開が目
前に迫ってまいりました。

競馬の再開については、建物の復
旧以外にも、皆様ご承知のとおり放
射性物質への対応という、未知の分
野の問題が大きく立ちほだかりま

した。

専門知識も乏しく、また行政の基
準も度々変わる中、手探りの状態で
あったものの、少しでも安心してお
客様や関係者の方々に競馬場に来て
いただくために、自主的な放射線低
減策に取り組んでまいりました。

その結果、競馬場施設内の放射線
数値は、かなり低い数値を示す状態
となり、競馬再開に際して万全の体
制を整えることが出来たと言えま
しょう。

また、この1回福島競馬は被災地
の復興に寄与するために「福島復興
祈念競馬」として開催し、売り上げ
の一部を被災地支援として拠出する
ことも決まっております。

より多くのお客様にご来場いただ
くために、競馬場としてこの開催の
キャッチフレーズを「再開、そして
再会。」と銘打ち、馬主の皆様をは
じめ関係者のご協力のもと様々な催
しを実施する予定です。会員の皆様
方も是非お誘いあわせの上、福島競
馬場にお越しただいただければと存じ
ます。

3月11日の東日本大震災から1年――。

4月7日の福島競馬再開へ向けて
クリアにしなければならなかった問題は
スタンドの改修・耐震性の見直し、
そして、放射性物質の除染だった。
急ピッチで工事が進む2月末に
福島競馬場を訪ね、取材した。



福	島	競	馬	場
	改	修	工	事
レ	ポ	ー	ト	
特集	1			

福島競馬、再開――。

損傷の大きかった建物の 繋ぎ目部分を大胆に変更

桜花賞ウィークにあたる4月7日、いよいよ福島に競馬の蹄音が戻ってくる。東日本大震災によって開催不能の状況に陥り、春の開催はもとより、夏、そして秋の開催も中止に追い込まれた昨年の福島競馬場だが、関係者はその間も、「より安全に、より安心して」レースを楽しんでもらえるような環境の整備を目指し、福島競馬の復興というプロジェクトに取り組んできた。ならば具体的にはどんな安全かつ安心対策が講じられたのか。本稿では開催の再開に向けて実施されてきた様々な取り組みについてレポートする。

福島競馬の再開を目指すうえで、柱となるテーマが2つあった。ひとつは未曾有の震災によって損壊したスタンドをはじめとする施設の復旧、そしてもうひとつが震災の直後に発生した原発事故の影響による放射性物質の除染対策である。このうち除染対策については後述するとして、まずはスタンドの復旧工事からみていこう。

傍目には「ひとつの大きな建物」と映る福島競馬場のスタンド（6階建て）は、内部的には1コーナー寄りの北棟、中央部の中棟、4コーナー寄りの

の南棟と、それぞれ別個といえる3つの建物を、2つの繋ぎ目部分で接合した構造になっている。先の震災でとりわけ大きなダメージを受けたのは中棟スタンドの高層階で、5階フロアの天井はほとんど崩落、また、南北棟との繋ぎ目にあたる部分近辺の損壊も激しくて、スタンド前面のガラスの一部は割れて枠ごと外れ、地面に落下してしまっただけである。

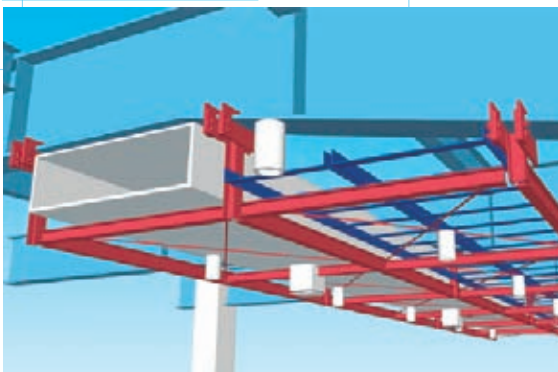
地震が発生した昨年の3月11日は金曜日で、つまり非開催日。幸いにして人的被害は出なかったのだが、同規模の震災がもし開催日に起きていたら大変な惨事になっていた。それなりの重量がある天井ボードが崩落した下に、あるいは枠ごと外れて地面に落ちてきたガラスの下に大勢の人がいたら――。軽微な怪我程度の人的被害では済まなかったことは容易に想像がつく。

従って損壊した施設や設備を復旧するにあたっては、開催日に同規模の地震が起きた場合のことも想定しておく必要があった。要するに従来のスタンドよりも耐震性を強化する必要があるということだ。

「復旧工事の設計段階で、ウチのほうから設計担当者にそういう要望（耐震性の強化）を出しました。新たな建物



フ	ロ	ア	天	井	内	の
新	し	い	構	造		



上の図は新たな天井内部を図版化したもの。白の空調ダクトや青のケーブル用の棚を赤い鉄骨で支えている。下の写真は工事中のもので、写真上部の、奥に向かって走っているものと、横に並ぶ赤い鉄骨がそれにあたる。



5	F					
フ	ア	ン	エ	リ	ア	天
						井
						修
						復
						前



5	F					
フ	ア	ン	エ	リ	ア	天
						井
						修
						復
						後



をイチから造る場合と異なり、今回のように被災した既存の建物を修復するケースで、さらに耐震性も強化するとなると専門家の方でもなかなか難しいみたいでしたが、それでも色々な手法を用いていた結果、スタンドの安全性、耐震性についてはかなりのレベルにまで強化することができました」（JRA福島競馬場施設整備課・都田裕二課長）

そのために実施された具体的な工法について話を進める前に、天井やガラスが崩落した“理由”についても触れておこう。中棟スタンド高層階の被害が激しくなったのは、南北かつ上下方向の揺れが大きかったという先の地震

の特徴と、南北に長い形状で建っているスタンドの位置関係が不幸な形で重なってしまったため、また、3つの棟を繋ぎ合わせているスタンドの構造のため（建物が異なると揺れ方も異なり、上の階にいくほどそのズレも大きくなる。このため、両サイドから挟まれて揺さぶられた中棟スタンド高層階の、特に繋ぎ目部分付近の損壊が激しくなった）でもあるが、都田さんによると調査の結果、天井の崩落については次のような事実が判明したのだという。

「天井ボードは軽鉄の下地に貼り付け

であって、その軽鉄は支持金物と呼ばれる細長いボルトで、上層フロアの床面と接合されています。横から眺めると、上層フロアの床面から天井ボードを吊っているようなイメージですね。その天井裏のスペースには空調用のダクトとか、何百本というケーブルを積んだケーブルラックなども配置されているんです。ところが先の地震ではあまりにも揺れが激しかったため、個々は軽くても、全体ではかなりの重量があるそれらの配置物が自重で揺れて、天井ボードを吊っている支持金物（ボルト）に当たってこれを破断してしまったんです」

だからといってダクトやケーブルラックなどを撤去するわけにはいかない。それをやるとなるとスタンド全体の構造を造りかえる必要があり、とても現実的な話ではないからだ。ならば既存の配置物を残しつつ、耐震性を強化するためにはどうすればいいのか。こうして考え出されたのが、“既存の配置物が天井ボードを吊っている支持金物に干渉しないような構造”に造りかえることだった。

「新たに入れた鉄骨を建物に接合し、その鉄骨でダクトを挟み込む、あるいはケーブルラックなども鉄骨に接合す

ることにしました。こうすればかなり激しく揺れても既存の配置物は支持金物に当たらないし、多少は当たってもボルトを破断するまでには至らないというわけです」

この新たに鉄骨を入れる工事は、中棟の2～5階フロアの天井部分を対象にすべて実施された。天井が崩落しなかった低層階でも工事を行ったのは、「調査した結果、低層階でもボルトの破断があちこちで起きていたため」という。そんな中棟に対して「ボルトの破断はほとんど見られなかった」という南棟、北棟については、新たに鉄骨を入れる工事は行われなかったものの、天井裏に配置されている重量物をもともと設置されていた鉄骨に改めてくくりつけ、耐震性の強化を図った。さらに天井の一部が崩落した5階の指定席フロアのひな壇部分——天井が斜めになっており、他のエリアとは少し構造が異なる——については、従来よりもかなり太い鉄骨を筋交い（Xのような形）の形で入れ（左ページ左上の写真）、耐震性を強化した。「たとえ先の震災と同じレベルの地震が起きても、もう天井が落ちることはないはずです」と都田さんは胸を張る。

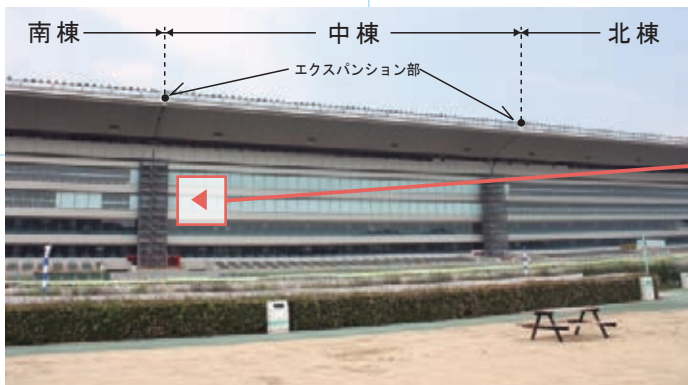
一方、損壊が激しかった繋ぎ目部分

はどのように改修されたのか。都田さんによると、「大きな地震が起きたとき、スタンドの繋ぎ目部分が壊れてしまうのはある意味、やむを得ないこと」なのだという。前記したように本来は別々の建物を見かけ上はひとつにして運用しているのだからそれも当然だ。とはいえ、ある程度の損壊は免れないとしても、「同等レベルの地震がまた起きてしまった場合でも、被害がもう少し小さくて済む」ような対策は講じておく必要がある。たとえば高層フロアから「ガラスが枠ごと外れて地面に落下する“なんて事態は、絶対に防がなければならない。そのために実施されたのがユニークともいえる対処策だった。

「スタンド前面のガラスはもともと、ワイヤーで固定するなどして、ガラス枠自体が落下しない構造になっているんです。しかし繋ぎ目部分では現実にはガラスが枠ごと落ちてしまったわけではなく、大きな地震が起きても落下しない、枠が外れた場合でも下には落ちない構造にしよう。なので繋ぎ目部分についてはガラスを少し内側に凹ませるような構造に造りかえました」

凹ませた箇所には小さなベランダのような踊り場が設けられており、万が

南棟・中棟間の改修工事



以前は全面張りのガラスが南棟～北棟にかけて水平に連なっていたが、損傷の激しかったエクспанション部の構造を変更。この部分のみ奥へ凹ませる形にし、たとえばガラスが割れても1階に破片が落ちないよう受け止められる構造になっている。真ん中の写真はこの部分を5階のスタンド内部から撮影したもので、ガラスが地上に落下しないよう、凹ませた箇所に踊り場が設けられていることがわかる。またその下は南棟・中棟の2階内部の写真で、この部分はパドックとスタンド前のエリアを結ぶ半開放型の通路に変更されている。





5階の指定席フロアのひな壇部分は他の天井と構造が違っているので、かなり太い鉄骨を筋交い（Xのような形）の形で入れ、耐震性を強化している。右の写真は改修前の天井が崩落していた状態のもの。

一、ガラスが枠ごと外れてしまった場合でもそこで受け止め、地上への落下を防ぐ仕組み。さらにはパドックとスタンド内、馬場側のエリアをファンが行き来する動線にあたっていたパドックフロア（2階）の2箇所の繋ぎ目部分にも、思い切った改善が施された。

「従来の繋ぎ目部分に設置されていた扉などは地震で全部壊れてしまったんです。地震が発生した瞬間にそこをお客様が通っていたら大変なことになりますから、繋ぎ目部分のサッシなどは取り払い、設置しないことにしました」

この結果、パドックフロアの2箇所の繋ぎ目部分は、パドックとスタンド前のエリアを結ぶ半開放型の通路に変身。引き戸をわざわざ開けてパドックに出入りしていた従来に比べると通気性がよくなるので、蒸し暑い夏場の開催などでは人馬の不快指数が軽減される効果も見込める。

“しらみつぶし”に高圧洗浄を実施し、除染を進めた

そのように、東日本大震災と同規模の大地震に再び見舞われたときのことも想定して施設の復旧や整備が進められていく一方では、ある意味、復

旧工事以上に重たく厄介な“テーマ”といえる除染の対策も着々と進められた。走路の内側部分の芝を張り替えた（原則的には内側10メートルだが、入手できた芝をより効果的に活用するため、走行頻度が高い個所を重点的に張り替えた）こと、場外発売所として使われていた内馬場エリアの芝をすべて剥ぎ取ったこと、ベンチなどの場内施設についても除染作業が行われていることは、本誌の前号でもお伝えした通りだが、その後、ダートコースと厩舎地区の砂も全面交換を実施。内馬場に設置されている遊具なども含め、外気にさらされているエリアでは、“しらみつぶし”に高圧洗浄を実施し、除染を進めた。この高圧洗浄は当初、試行錯誤の連続だったという。

「今でこそ、市内の一般の家屋で高圧洗浄を実施する場合、屋根から始め

ると効率的に進む“などのマニュアルが浸透してきていますが、最初の頃はやり方がよく分からなかったですからね。たとえば高圧洗浄は素材によって効果がまちまちなんです。コンクリートの床とか、タイルのようにツルツルしている素材は、高圧洗浄をかければ数値が落ちますが、パドックのウレタンや人工芝のようにザラザラしている素材だと効果は低い。洗浄効果が低い素材は丸ごと交換する必要があるわけですが、そうした素材による違いなどは、除染を進めながら段々と把握していく感じでした。それでもお客様が足を運ばれるところ、人や馬と関わりのあるところについてはすべて（除染を）やったと解釈していただいて構いません」

ところで国は暫定的な措置として、敷地内で出た放射線を有する資材など

専門家の方でもなかなか難しい みたいでしたが、それでも

色々な手法を用いていた結果、スタンドの安全性、耐震性についてはかなりのレベルにまで

強化することができました

マイクロシーベルトとは？

「シーベルト」は人体が浴びた放射線の総量を表す単位。1シーベルトの1000分の1が1ミリシーベルト、1ミリシーベルトの1000分の1が1マイクロシーベルト。放射線は自然界にも存在しているが、その量は地域によって差があり、人は1年間に世界平均で2400マイクロシーベルト（日本では1500マイクロシーベルト）の放射線を浴びている。また、レントゲンなどの医療診断でも放射線を浴びることがある。福島第一原発の事故以降、様々な場所で測定されるようになった値は、特に断りがない場合、その場所に1時間いた時に受ける放射線量のことを示している。文部科学省は当初、「屋外活動を1時間以内に抑える必要がある」目安として3.8マイクロシーベルトの基準を示した。

国の基準

「屋外活動を1時間以内に抑える必要がある」目安

3.8

マイクロシーベルト

※震災後の昨年4月に文部科学省が出した数値で現在は変動中。

福島競馬（2月中旬）

屋外エリア

0.26

マイクロシーベルト

スタンド内

0.07

マイクロシーベルト

“ 埋めた汚染物資の総量は
5千立方メートル以上
来場者や人馬に何らかの影響を
及ぼす危険性は“まったくない”と
考えられる ”

については、同じ敷地内で保管（あくまでも建前は一時保管）するように定めている。なので交換された素材や砂、張り替える前の芝、これを覆っていたシートなどはすべて、内馬場内の一角（養生芝地として利用されていたエリアで、ファンは出入りしない場所）に深くて大きな穴を掘って埋めることになった。

水シートを敷き、その上に交換した砂や芝などをどんどん入れていきました。2・5メートルの深さのうち2メートルまでをそうした汚染物資で埋め、それを風呂敷みたいにシートで包んで目張りをして、その上の50センチを（汚染されていない）土で埋める。そうすると、土の中の放射線はもう、ほとんど地表には出てこないんです。たとえば原発の事故が起きたとき、ウチでは

芝コースに（発育を促すための）シートをかけていたんですね。その大きなシートの放射線量を後で測ったら、100とか200とか、それこそビックリするような数値が出ました。しかしそのシートを埋め、土で覆ってから地表の数値を計測してみると、0・1にも満たない数値になっている。その上を歩いても、まったく問題はないわけです」



6 F

来 賓 口 ビ ー 修 復 後



6 F

来 賓 口 ビ ー 修 復 前

福島復興祈念競馬

第1回福島競馬開催は「福島復興祈念競馬」として行い、開催の売上げの一部を被災地支援のために拠出いたします。
また、第1日（4月7日（土））のメインレースは、「福島競馬再開記念 福島民報杯」として行います。

1

「フリーパスの日」

開幕週4月7日（土）・8日（日）の2日間、一般入場料が無料となります。

また、来場されたお客様には、先着でターフィーオリジナルキーホルダー（土曜日8000名様、日曜日10000名様）をプレゼントいたします。

2

ジョッキーによる福島競馬再開オープニングセレモニー

【日 時】4月7日（土） 昼休み

【場 所】スタンド前 芝コース

【内 容】当日福島競馬場で騎乗予定の騎手が、福島競馬の再開を宣言するとともに、福島の復興を祈念するメッセージをお届けします。

3

アントニオ猪木さん来場！スペシャルトークショー

【日 時】4月8日（日）お昼休み、最終レース終了後

【場 所】スタンド前 芝コース

なお、アントニオ猪木さんには、メインレースのプレゼンターとしてもご出演いただく予定です。

4

オリジナル記念馬券による投票券の発売

競馬開催期間中、三春駒などをデザインした福島競馬場限定投票券を発売いたします。

5

福島競馬再開記念切手の発売

【発売日】4月7日（土）・8日（日）

【内 容】場内の特設郵便局で、福島競馬再開記念切手（50円切手）を販売いたします。なお、ご購入のお客様には、オリジナルポストカードをプレゼントいたします。

また、特設ポストに投函されますと、「福島競馬場」の消印が押されることになっていますので、どうぞご利用ください。

6

指定席の割引発売

第1回福島競馬開催期間中のA指定席、B指定席を通常よりお得な料金でご利用いただけます。

A指定席 1500 円→1000 円

B指定席 1000 円→500 円

また、これまでの中山・東京競馬場での事前予約の席数を拡大するほか、新潟競馬場においても事前予約を行います。

その他JR東日本の新幹線乗車券付のお得な日帰り観戦ツアーも東京発に加えて仙台発、山形発を取り揃えましたので、どうぞご利用ください。

7

福島競馬再開記念駐車場キャンペーン

4月7日（土）・8日（日）に駐車場をご利用されたお客様に、4月14日（土）～29日（祝・日）の間にご利用いただける無料駐車券をプレゼントいたします。

埋めた汚染物資の総量は5千立方メートル以上に及んだというものの、それが来場者や人馬に何らかの影響を及ぼす危険性は「まったくない」と考えられることが、このエピソードからもお分かりいただけるだろう。

ちなみに2月中旬の段階で、馬場内投票所付近の屋外エリアの数値は0・26マイクロシーベルト、スタンド内の数値は0・07マイクロシーベルト（いずれも数箇所でも何回も計測した数値を平均したもの）と、ほぼすべての人が「安心」と感じるであろうレベルに低下している。福島市内の空間線量

も0・6～0・8マイクロシーベルト程度で安定しているため、雨や雪が降った後でも競馬場内の数値に変動はないという。

「放射線量に対する概念に、個人差があることはもちろん承知しています。一般的にはまったく問題はないとされているレベルでも、原発事故の被害が及ばなかった地域よりほんの僅かでも数値が高かったら「やっぱり気になる」という方もいらっしゃるでしょうし、それは仕方がないこと。ただ、数値が下がれば下がるほど、安心して来ていただけるお客様の数が増えることは確

かですからね。除染作業については開催が再開されてからも継続して取り組んでいくつもりです」と気を引き締める都田さんだった。

本格的な復旧工事の着手（昨年9月）よりひと足早く、7月の時点で張り替えを実施したおかげで芝は順調に根付いており、「張り替えを行った内側部分も外側部分と変わらない生育状況」だという。秋の開催で使われた後に春の開催を迎える例年と異なり、今年はまつさらの状態で開催を迎えるわけだから、「芝コースは例年の春開催

よりだいぶ良好なコンディションです」と胸を張るのも頷ける。また、同様のことは新品の砂に交換されたダートコースについてもいえるだろう。

例年以上の降雪に悩まされ、やや遅れ気味だという工事だが、取材した2月末時点での進捗状況は90パーセントを超えており、いよいよラストスパートといえる段階に差し掛かった。未曾有の震災を経て「より安全に、より安心してレースを楽しむ」環境に生まれ変わった福島競馬場にもう間もなく、馬たちの蹄音が甦るうとしている。

特集 2

馬房を効率良く回すための “外厩”との 付き合い方

管理頭数上限の引き上げやメリット制の導入、出走までの在厩期間の短縮により、厩舎サイドではより効率的な馬房の回転が求められている。そこで近年、注目されるのが“外厩”としての育成牧場の存在だ。トレセンで馬を管理する調教師たちは育成牧場をいかに利用しているのか、聞いてみた。

さまざまな規定の変化が “外厩”との関係を変えた

JRAには美浦・栗東トレーニングセンターがあり、内厩制度を取っている。それに対して、他の団体・民間が経営する育成牧場は通称“外厩”と呼ばれ、近年ではその存在感が増してきている。

2004年にいわゆるメリット制が導入される以前は、東西トレセンでは各厩舎の預託可能上限頭数34頭に対して一律20馬房が与えられていた。

また、レースへの出走に関しては、トレセンをはじめとするJRAの施設内に、当時は新馬ならば1ヵ月、一度競馬を経験した馬は2週間以上の在厩期間が規定によって義務付けられていた。

つまり、調教師たちはこの規定の中で、管理馬34頭に対して20馬房をやり繰りしながら、できる限り多くの馬を競馬に送り出し、より多くの勝ち星を

挙げていくことが求められていた。

そして現在、成績によって増減していくメリット制により基本20馬房は最大28馬房まで増やすことができ、預託可能頭数の上限は馬房数の3倍となった（今秋から2・7倍、来春から2・5倍に段階的に減少される予定）。さらに、競馬を使うまでに必要な在厩期間が、新馬は15日、一度競馬を経験した馬は10日に短縮されている。

預託可能上限頭数が増えると、より効率良く馬房を回す必要に迫られ、在厩している20頭以外の放牧に出されている馬に対してもトレセン内で行う調教と同じレベル、内容が求められることになる。育成牧場はデビュー前の馬たちの育成や休養以外に、より実戦に近い調教を行うという“外厩”としての役割を求められるようになってきたのだ。

リーディング上位の厩舎ほど、規定在厩期間ギリギリでレースに使い、競馬に勝って勝ち星を量産していくた

め、“外厩”との関係がより密になっているといわれる。

さらには、優先出走権の導入で、除外馬ラッシュや出走できる馬とできない馬の二極化が進んだといわれる。

では、このような規定の変化によって、厩舎と育成牧場の関わり方に、具体的にはどのような変化が生じているのだろうか。調教師の方々にその実情について話を伺った。



東西トレセンに入厩する際には現地

北海道から直接入厩せずに
“外厩”を経由する方法を
取る厩舎も増えている



レース間の短期放牧
（“外厩”としての役割）
リフレッシュ放牧

2012年度の貸し付け
馬房数は12～28、
ひと厩舎あたりの
預託可能上限頭数は
貸し付け馬房数の3倍

新馬なら15日間、
出走経験がある馬は
10日間の在厩期間を
経れば出走可能

北海道などの
育成牧場

長期放牧など

入厩

北海道開催などでは
競馬場に直接入厩して
出走が可能

競馬場

の検疫所によるチェックが義務付けられており、時期による馬房の変化はあるが、平常で週におよそ275頭の馬たちが入厩してきている。

現場では「もっと検疫所に入れられる枠を増やしてほしい」という声が多いのだが、それこそが現在の厩舎と育成牧場との関わり合いの深さを表しているという見方ができる。

極端な言い方をすれば、預託馬たちの多くは、レースを走ったら一旦放牧に出て、またレース10日前までに戻っ

てくれさえすればいいのだ。

ただ、調教師たちは放牧に出すか出さないかについては「あくまで馬の特徴や状況による」と口を揃える。

大竹正博調教師は次のように言う。

「放牧から2週間で競馬に向かう馬もいますし、放牧に出さずに厩舎で調教をしていった方が良い馬というものもあります。実際、1年近く厩舎に居続けた馬たちもいます」

放牧に関しては、やはり馬の事情が優先ということだが、これに関しては今回、同様にお話を伺った勢司和浩調教師も同じ意見だった。

厩舎の馬房をやり繰りするために入退厩が頻繁に行われているという声もあるが、ふたりともに「決してそういうことだけで入退厩をしているのではありません」と否定するのだ。

ただ、短期放牧に出る“外厩”としての育成牧場の存在については、ふたりとも「必要不可欠」だと口を揃え、「10年前とは格段に進歩しています」と、その技術力の向上を実感しているようである。

大竹師は言う。

「馬房の3倍までという預託可能頭数の馬たちを、馬それぞれに合わせながら入れ替えをしていかなければならな

いのが現実ですし、馬の往来が増えていけるのは間違いありません。そういった意味ではなくてはならない存在でしょう。また、育成牧場で調教された馬たちの状態に関して、連絡をより密に取り合う必要もありますから、育成牧場とやり取りする回数は増えていっています。それによって育成牧場側がこちらの要求に応えようと努力されたことで、技術面における進歩は目覚ましいものがあります。うちは10日間で競馬をすることはほぼありませんが、何度か入厩10日で競馬に使うことができ、一度は勝つことができました。今では、

トレセンに入って3週間で競馬に行きたいのこの程度まで進めてほしいなという、こちらからの具体的なお願いにも、いまの育成牧場は応えることができます」

勢司師も同様のことを口にする。

「いまは育成牧場を抜きに厩舎運営はできません」



いと言つても過言ではありません。そのくらい大きな存在となつています。実際に昔は厩舎の役割だった部分の多くを育成牧場が行っているというのが現状です。頻繁に入退厩が繰り返されるなかで、育成牧場では厩舎にいる時とより近い状態の馬たちに携わることになります。例えば、育成牧場にソエが出た馬が放牧に來たならば、ソエをケアすることになります。そこで技術が身についていきます。また、かなりの部分までの仕上がり求められるケースも少なくありません。これら厩舎からのリクエストに応えるために牧場側が頑張ってきた結果として、技術の向上があるでしょう」

これまでは馬房の入れ替え先という意味が強かった“外厩”としての育成牧場。それが今は、増加の一途を辿った現役馬たちの入退厩の頻度によって技術向上が図られていき、競走馬たちに調教を施しながら入厩を待つという役割を担うことになったのだ。

また、育成牧場には精神的なリラック効果があるともいわれる。

10数キロも細化してしまった馬体がわずか10日で回復するなど、大竹・勢司両師ともに、その効果を経験しているという。

大竹師が「調教の緩急に加えて、ト

レセンよりも緑が多く、より自然に近い環境が、精神的なリラックスをもたらしてくれます」と言えば、勢司師は「厩舎の1週間と牧場の1週間では肉体だけでなく、精神面での疲労回復の度合いが違います」と口にする。

合理化・効率化が孕む深刻な問題点

調教技術のレベルが上がり、リラックス効果が得られるのなら、“外厩”としての育成牧場の需要が高まるのは当然といえば当然だ。では、逆に需要が高まることによって生じる問題点はないのだろうか。

馬主の方々にとってより直接的な面のことで言えば、両師とも預託料と見舞金を挙げる。

万が一、調教中にケガをしたときに、トレセンの施設内であつたならば見舞金の対象となるが、育成牧場ではそうならない場合が出てくるのだ。

これに対しても両師ともに見解は同じだ。

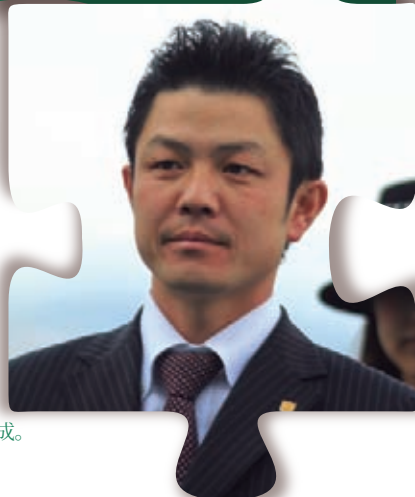
「見舞金という側面から言えば、よりリスクが伴ってくる実戦に近い調教はトレセンの施設内で行いたいと思います。ただ、厩舎と育成牧場では預託料が変わってきますので、お預けいただいている馬主の方々のご負担を考慮す

“様々な環境に順化できるようにするためにも、環境が変わるということは必要だと考えます。(中略)ただし、最短在厩日数10日で競馬を使うことはほとんどありません。(中略)それこそ馬によって千差万別ですが、順化するためにはある程度の時間は必要でしょう。”

大竹正博 調教師

Profile

1969年生まれ。東京都出身。
2008年に調教師免許取得。
美浦所屬として2009年に
管理馬が初出走。
若手の新進調教師として活躍し、
2010年は年間26勝、2011年は
年間23勝を挙げている。
2011年フィリーズレビューでは
フレンチカクタスで初重賞制覇も達成。



るならば、やはり放牧という方法もひとつの選択肢ではありません」
また、個々の馬たちの事情を考えた場合、すべて放牧に出すことが良いということではないようだ。大竹師は次のように言う。

「様々な環境に順化できるようにするためにも、環境が変わるということは必要だと考えます。実際、その時の状況次第で様々な牧場に放牧に出ている馬もいます。ただし、最短在厩日数10日で競馬を使うことはほとんどありません。ある馬の場合は牧場では何でもないのに厩舎に來た途端にイレ込んで、

発汗が止まらなくなりました。飼い葉を食べられなくなつてしまい、馬体は細化していきます。そこで、あえて落ち着くまで、軽い運動程度しかさせずに過ごさせてみました。すると、3週間くらいすると全く問題がなくなつたのです。それ以降、その馬は厩舎でイレ込むことがなくなりました。それこそ馬によって千差万別ですが、順化するためにはある程度の時間は必要でしょう」

この大竹師の意見に同意する勢司師は、人間への影響についての問題を感じているという。



Profile

1962年生まれ。東京都出身。
1999年に調教師免許取得。
美浦所属として2000年に管理馬が
初出走。2002年に
管理馬スマイルトゥモローで
オークスを勝ち開業2年目にして早くも
クラシック初制覇。関東の
新鋭調教師として注目を浴び、以後、
毎年安定した勝ち鞍を挙げている。

勢司和浩 調教師

“いまは育成牧場を抜きに厩舎運営は
できないと言っても過言ではありません。
そのくらい大きな存在となっています。
実際に昔は厩舎の役割だった部分の多くを
育成牧場が行っている
というのが現状です。”

「牧場に多くの役割を依存することによって、我々厩舎側の技術、意識低下という問題が出てきています。ただ、現在多くの育成牧場で人手不足という問題を抱えており、馬に対して十分な時間をかけることができないケースもあるようです。確かに金銭的に考えれば、出走までに時間を要するような時は放牧に出した方が良いです。しかし、ケアを牧場に任せ、問題の少ない馬ばかりを扱っているのは、ケアをしながら調教、競馬に向かう過程で身に付く技術が得られなくなってしまうです。そして、そうした合理性を求めた結果として、

担当馬とスタッフとの関係までもが希薄になってしまいかねません。いまは扱う馬も多いですから、これはプロとしては由々しき問題だと感じます。その馬の全能力を発揮させるためには、我々厩舎スタッフはプロとしてできる限り多くの術を持っていなければならないのですからね」

技術面についての影響は大竹師も感じており、「許していただけなのであれば、厩舎で取り組ませていただくことは大切だと考えています」と話す。「ケアをするということもそうですが、馬が良くなっていく過程を実感するこ

とも大切です。以前にハ行してしまい動けなくなってしまう馬がいました。その時は牧場で調整しても同じならば、厩舎でやってほしいとオーナーの方に言っていたら、厩舎で対応させていいただきました。結局、完治までに数ヶ月の時間を要しましたが、良化していくことを実感しながら過ごすことで、技術面ばかりでなく、馬との関わりという部分においても、とても貴重な経験をさせていただきました」

高い技術を持つプロたちが合理化・効率化を求めるばかりに、その技術を使うことを他者に委託することで技術の低下を招いてしまつては、日本の厩舎システムの根幹を揺るがしかねない。



大竹・勢司両師が口にする、育成牧場の存在感が増している現実とその技術向上については、多くの調教師たちが賛同するだろう。また、技術が向上していくことで、単なる放牧先という存在から“外厩”としての役割にシフトしていつているのも事実だ。

そうした状況の中では、前述のとおり、牧場との密なコミュニケーションが必要不可欠となる。

調教師の多くは全休日となる月曜日を利用して、預託馬が過ごしている育

成牧場を訪れ、馬を確認しながら、その後の方針など、細部に渡って話し合っているのだ。

このようにますます厩舎と外厩との関係が密になり、多くの馬にとっては精神的な面でもリラックス効果が期待でき、さらに馬主の方々にとっては預託料の面における実効もある。

しかし、その反面、トレセン施設内でのみ対象となるケガによる見舞金がある育成牧場では支払われなかったり、内厩制度の根幹を揺るがしかねない技術力の低下に繋がるという面もある。

環境面では、近年は育成牧場の施設も素晴らしく、馬にとってリスクが小さいものも少なくないが、世界に類をみない経費を費やして作られた、世界で一番安全な馬場があるのは、何を隠そうJRAの両トレセンなのである。

ここまで、おふたりにお話を伺ってきたとおり、“外厩”を利用すること、しないことにはそれぞれに一長一短がある。現在のところでは、両調教師が繰り返し口にした「あくまで馬とその時々との状態や状況に応じた選択」というのが妥当だろう。また、“トレセン”と“外厩”が連絡を密に取り合い共存していくことが、競走馬の能力発揮に繋がるのだ。

スパリゾートハワイアンズ

— 震災復興のシンボルとして —



大型温泉プール「ウォーターパーク」。

全国に笑顔を
フラガール大活躍

昨年3月11日に東日本を襲った震災は被災地で暮らす住民はもちろんのこと、各地の観光地にも多大なる影響を及ぼしまし

ある常夏の楽園と親しまれ、長く観光客に愛されてきました。

震災発生時は前日の宿泊客や当日の宿泊客が混在する時間帯で、約1500人の来場者がいたとのこと。高速道路、鉄道な

た。特に福島は福島原発の事故による風評被害もあり、観光産業は大きなダメージを受けたのです。今回紹介する『スパリゾートハワイアンズ』も、そんな福島県が誇る観光名所のひとつでした。スパ

だが不通となり、安全確保ができないという状況のため、多くの客が現地に留まることとなった。しかし、13日には首都圏から来場していた約600人の客を18台の貸し切りバスで東京まで送り届けました。もちろんこの間の宿泊料などは無料で対応したので。その結果、震災当時のスタッフの対応についてブログなどで紹介する方が現れ、大きな反響を呼びました。

その後、4月11日にいわき市を襲った直下型地震などでさらに大きな被害を受けたため、営業再開を10月にする事となった



2010年2月から着工していた新ホテル「モノリス・タワー」も予定よりも3ヵ月遅れたが無事完成。

Information



スパリゾートハワイアンズの近くには馬の温泉(JRA 競走馬総合研究所常磐支所)もございます。

スパリゾート ハワイアンズ

住所

〒972-8326
福島県いわき市
常磐藤原町蔵平 50

電話(代表)

0246-43-3191

営業時間

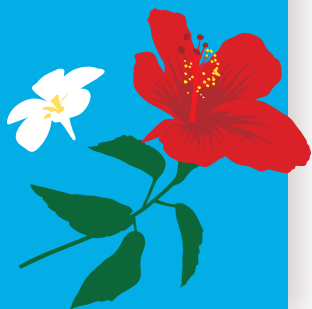
平日 10:00 ~ 22:00
土・日・祝日
9:30 ~ 22:00

入場料

★大人(中学生以上)
通常 3,150 円(税込)
15 時以降 2,650 円(税込)
18 時以降 2,450 円(税込)
障害者割引 1,575 円(税込)
★団体(15 名以上)
2,520 円(税込)
※すべての料金に子供、乳幼児割引もあります。

宿泊代

大人1泊1名 13650 円~各種取り揃えております。詳しくは電話でご確認ください。



休館中は全国を巡っていたフラガールたちも今は同所で公演中。

炭鉱から観光に轉身した、 かつての試練を踏まえ、 震災復興から未来へと繋がる 第二の転換期と位置付けた

てしまいます。

その時、震災からの復興を願って、フラガールが立ちあがりました。フラガールは映画『フラガール』でも紹介されたように、かつて炭鉱と家族を救うために、1965年に全国公演をしました。そして昨年、震災からの復興を願い、被災者ならび日本全国に笑顔と元氣をお届けしようと46年ぶりの全国公演が行なわれました。「フラガール全国キャラバン」と名付けられたその試

みは、5月3日にいわき市内避難所への慰問公演を皮切りに、福島県や東北各県の被災地、県内外や首都圏の避難所など全国26都府県を巡り、韓国ソウル市を含め125カ所、247公演に及び、その模様はニュースなどでも取り上げられました。

震災から204日が過ぎた10月1日、部分オープンとなりましたが、営業を再開。オープン時間前には300人以上が来場していたそうです。また全国を

回っていたフラガールたちも、ポリネシアンショーを復活。立ち見を含め700人以上が集まりました。この間の詳しい内容は『フラガール 3・11つながる絆』(清水一利著・講談社)に紹介されておりますので、興味のある会員様はご一読ください。年が明け、迎えた2月8日。ついにランドオープン(全館営業再開)となりました。炭鉱から観光に轉身した、かつての試練を踏まえ、震災復興から未来へと繋がる第二の転換期と位置付け、新コンセプトを「きづなリゾート」に決定しました。今後は地元や首都圏などを中心に集客をはかり、3年後には日帰り客年間145万人、宿泊客同40万人という震災前の水準を目指すそうです。



ポリトラックコースと競走馬の健康について

2007年11月。美浦トレーニングセンターに開設されたニューポリトラックコース。当初はゴスホークケン、マツリダゴッホと、同コースで調教された馬がGIを制して一躍話題となり、2009年には栗東トレセンにも導入されるなど、すっかりお馴染みとなった。しかし、その調教効果などについての情報はなかなか伝わってこない。今回は、ポリトラックコースと競走馬の健康の関わりについて、関係者にうかがってみた。

ポリトラックコースは天候によって左右されないのが大きなメリット

美浦トレーニングセンターの調教コースにポリトラックコースが導入されて4年が過ぎた。

開場当初ほどではないにせよ、現在でも多くの在厩馬たちが、ポリトラックコースを使用して調教されている。

ポリトラックコースは人工物で構成されていて、天候の影響によるコンディションの変化が生まれにくいという特徴があることは、以前にもお伝えした通りだ。では、

同コースでの調教が馬たちにどのような効果をもたらすのか。競走馬を所有されている会員の方々にとっては、それも気になるところだろう。

実際にポリトラックコースを調教で使用している調教師の1人、勢司和浩調教師に聞いた。

「あくまで馬の特徴や状態に合わせてコースを選ぶのですが、ポリトラックコースは天候によってコンディションが左右されないというメリットがあります。我々がお預かりしている馬たちについて、調教で一番警戒することとして、ミステップというものがあります。」

特にコーナー付近で多かつたりするのですが、凹凸ができた状態では、しっかりと着地することができず、脚を捻ってしまう、あるいはバランスを崩してしまい、大きなケガに発展してしまうケースが少なくないのです。しかし、ポリトラックコースは天候に左右されず、しかもグリップ力が強いという特徴がありますので、ミステップの確率が低くなっているのを感じます」

また同師は、馬を調教していくなかで、肉体面での効果も感じていると言う。

「グリップ力が強いということは、

馬たちにとって走りやすいということですね。なぜなら、芝と似て、パワーを必要としなくても推進力が出るからです。他のコースでは、スピードと負荷は比例するため、速いスピードを求めれば、肉体にもそれだけの負荷が掛かります。しかし、ポリトラックコースでは、より軽い力で速いスピードが出るので、筋肉や腱などに対して、より軽い負荷でスピードを出す調教



ポリトラックコース（美浦）の 事故発生件数

2008年 事故発生件数		2009年 事故発生件数	
1月	13	1月	4
2月	10	2月	6
3月	5	3月	6
4月	15	4月	5
5月	1	5月	10
6月	4	6月	4
7月	3	7月	6
8月	2	8月	3
9月	0	9月	4
10月	6	10月	7
11月	1	11月	7
12月	5	12月	6
合計	65	合計	68

2010年 事故発生件数		2011年 事故発生件数	
1月	5	1月	1
2月	1	2月	5
3月	6	3月	6
4月	3	4月	5
5月	4	5月	3
6月	4	6月	2
7月	1	7月	5
8月	2	8月	4
9月	3	9月	6
10月	2	10月	5
11月	5	11月	3
12月	2	12月	1
合計	38	合計	46

ができます。さらに、スピードが出ているということは、心肺機能はより実戦に近い状態になっていると考えられます。軽い負荷で、心肺機能もより鍛えられるということなのです」

一般的に坂路は、スピードが出ていない状況でも、心肺機能の鍛錬をすることができるとされているのだが、ポリトラックも同様に、より軽い負荷で、心肺機能を鍛錬するためのスピードを得られるということなのだ。

実際、新聞等に掲載されている追い切りタイムは、他のコースに比べると速いことが多いのだが、

コースで乗っている騎手や調教助手たちも、「それほど意識しなくてもスピードが出る」と口を揃える。なかには「感覚的には15〜15なのに、実際には13〜13くらいだった」という声もある。では、スピードが出やすいことによる弊害は出ていないのだろうか。

過剰なスピードは、屈腱へのダメージを連想してしまうのだが、これについては、「ウチの厩舎では、屈腱炎をはじめ腱に対する疾病が特に増えたということはありません」という勢司師の言葉に同意する声が多い。

美浦トレセンで診療所を開業し、

調教で一番警戒することとして、ミステップというものがあります。ポリトラックコースは天候に左右されず、しかもグリップ力が高いという特徴がありますので、ミステップの確率が低くなっているという効果を感じます。

勢司 調教師

毎日最前線で競走馬の肉体を診察している松永和則獣医師に尋ねて

も、「個人的な意見としては、腱や筋の疾病が増えているとは思いません。それよりは、骨折、と言っても数ではなく、その症状の度合

いが大きくなっていると感じます」という答えが返ってきた。「他のコースよりグリップ力が強い、ため遊びがなくなってしまう、症状の度合いが大きくなってしまうのでしょう。骨折したときに、能力喪失、あるいは予後不良になってしまうケースが多くなっている印象です」

ダートなどではグリップ力が小さいため、例え捻ったとしても、捻挫、あるいは骨折したとしてもそこまで症状にはならない場合が多い。しかし、ポリトラックコースではグリップが効いているため、一気に力が加わり、同じ骨折でも度合いが大きくなってしまうというこ

となのだ。

勢司師も、そのような状況については「確かに、ケガを発症したときのダメージは他のコースよりも大きいという面はあります」と認識している。

「そういう現状があることは理解しています。ただ、どのコースも完璧ということはありません。それぞれに良い面と注意しなければならぬ面があるのです。ですから、我々としては、それぞれのコースの特徴をよく理解した上で、各馬の特徴や状況に合わせながら、使い分けていくべきだと考えています」

現在、ポリトラックコースで多くの馬たちが調教されているということは、より少ない負担で、よりスピードを得られるポリトラックコースの特徴を活かし、心肺機能を鍛えたいと考える調教師が多いということだろう。その効果も大きいが、その特徴をよく理解した上で、利用することが現場では求められているのである。



ポリトラックなどオールウェザー（全天候型）のコースについては、まだまだ研究の余地が残されている。

他のコースよりグリップ力が強い
遊びがなくなってしまう、症状の度合いが
大きくなってしまおうのしょう。
骨折したときに、能力喪失、
あるいは予後不良になってしまう
ケースが多くなっている印象です。

松永獣医

馬の体
その最先端



ポリトラックコースと蹄の関係

ポリトラックコースで調教されている馬は、蹄に問題を抱えている馬が多いという噂を耳にする。今回は美浦で装蹄師として活躍する鵜木忠さんに、ポリトラックコースと蹄の関係について尋ねてみた。

こ

れまでも何度か、蹄についてのレポートを掲載してきたが、ポリトラックコースができたことで、競走馬の蹄にはどのような変化が起こっているのだろうか。

鵜木忠装蹄師は言う。「柔らかくなり過ぎてしまっていますし、伸びが悪いです。また、蹄壁が柔らかくなっています」

同師は蟻洞などの疾病の要因と同じように、「やはり刺激が少ないためでしょう」と、その要因を分析する。

「以前にもお話しした通り、蹄には刺激が必要なのです。なかでもダートコースでの調教は、蹄底への刺激が大きく、蹄に対してはとても効果があります。それに対してウッドチップコースやポリトラックコースのようにクッション性に優れたコースでは、蹄底の部分への刺激が少ないのです。刺激が少ないと、蹄底が白線という部分よりも低くなってしまう可能性があります。そうになると、慢性的に挫石をした状態になってしまう。人間でイメージするならば、土ふまずの部分が低くなってしまう感じです」

その土ふまずのような部分が低くなると、

蹄底部分に圧力がかかるダートコースで乗られた場合に馬が痛みを感じてしまう。

「蹄底が健全ならば、砂が入ってきて、蹄の後ろの空間が開いている部分から砂が飛び出すため、刺激はあっても痛みは伴いません。しかし、柔らかくなってしまう、沈下したような形になってしまうと、その砂の出口部分が狭く、あるいはなくなってしまうため、砂の圧力をそのまま受けてしまい、石を踏んだ状態、つまり、挫石になってしまうのです」

そういう馬たちに対しては、鉄橋と呼ばれるブリッジの掛かった蹄鉄を履かせるなどの工夫を施すことで対応しているということだが、競走能力に影響を及ぼすこともあり得るので、当然ながら、できる限り健全な状態であつた方がよいはずだ。

さらに、ポリトラックコースの素材はオイルを含んでいるため、蹄そのものが油成分過多状態になってしまふという。

「蹄を切っただけで、ポリトラックコースで乗っている馬だということが分かるくらい油を含んでいて、柔らかいんです。私になるべく蹄が発汗するように、蹄油は塗らないように勧めています。ベビーオイルなどを使用して、油を落としている厩舎も少

なくありません」

また、グリップ力が強いポリトラックだが、そのグリップ力が、蹄に影響を及ぼしている面があるともいう。

「馬には着地する瞬間に地面を掴もうとする蹄器作用という大切な習性があるので、グリップ力が強いために、それをしなくて済んでしまうのです。そのため、脚部の上部で走るような感じになります。これは、蹄には決してプラスとはいえませんし、弊害は出てきてしまいます」

昔から『蹄なくして馬なし』という格言が伝えられているが、アスリートである愛馬たちの能力を最大限に発揮させるためにも、健全な蹄は必要不可欠だ。健全な蹄を求めるためにも、ポリトラックにない刺激をダートコースなど他のコースで得るようしながら、使い分けていくことが大切なのだろう。

健全な蹄を求めるためには、ポリトラックにない刺激をダートコースなど他のコースで得るようしながら、使い分けていくことが大切なのだろう。



鵜木忠 装蹄師

VICTORY CIRCLE

congratulations

重賞勝ち馬オーナー・インタビュー

第144回天皇賞・秋(GⅠ)

トーセンジョーダン

島川隆哉氏



Takaya Shinaakawa

ハイレベルの一戦を
圧巻のレコードで制す。
悲願のGⅠ初制覇を達成！

長期休養もあったが
本当に良い馬になった

——トーセンジョーダン号での天
皇賞・秋優勝おめでとうございます。

島川隆哉氏(以下、島川) ありが
とうございます。

——トーセンジョーダン号は07年
セレクトセールで購入された馬で
すが、期待のほどはいかがでした
か。

島川 クラシックでも活躍を期待
していましたが、3歳時には裂蹄
で長い休養もありました。池江調
教師に大事に育てていただき、本

当に良い馬になってくれました。

——「トーセンジョーダン」の名

前の由来を教えてくださいますか。

島川 ジョーダンはカリフォルニ
アのワインにちなんで名付けまし
た。以前、仙台の飲食店で勧めて
いただいた非常においしいワイン
で、思い入れのある名前です。

——天皇賞・秋では7番人気に支
持されていました。レース前の展
望はいかがでしたか。

島川 夏の札幌記念を使っていま
したが、他の強い馬たちは休み明
けでしたので、その分は期待でき
るのではないかと感じていました。

ピンナ騎手がうまく乗ってくれた
と思います。

——レースはどちらでご覧になっ
ていましたか。

島川 仕事の関係で北海道の帯広
にいましたので、携帯電話で観戦
しました。直線で青い勝負服が来
たのは分かったのですが、画面が
小さくて他の方の馬かとも思いま
した。その後、私の代わりに競馬
場に行っていた長女から電話で優
勝の知らせを受けました。

——初めてのGⅠ制覇となりました
が、ご感想はいかがでしたか。

島川 あまり実感がなかったのが
正直なところですよ。いつかGⅠを
獲りたいと思っていましたが、あ
と3年くらいは掛かるのではない
かと思っていました。天皇賞の翌
日、生産牧場のノーザンファーム
にお礼を伝えるために立ち寄った
のですが、その時に初めてVTR
を見ました。実感が沸いたのは
レースから4、5日してからでし
た。

——最後に、今後の期待をお聞か
せ下さい。

島川 このまま無事に競走馬生活
を送って欲しいと思っています。



第47回札幌記念(GII)

2011年8月21日 札幌
芝2000m・良(2分0秒4) 3歳以上オープン

トーセンジョーダン(牡5)

●父ジャングルポケット ●母エヴリウィスパ
●母父ノーザンテースト

馬主

島川隆哉

騎手

福永祐一

調教師

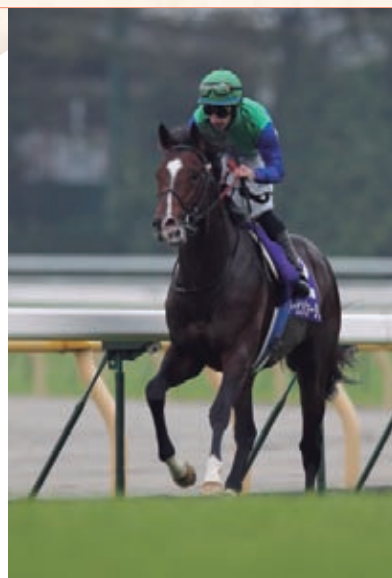
池江泰寿

生産

ノーザンファーム

福永祐一騎手のコメント

休み明けのハンデはありましたが、能力で克服してくれました。最後は地力の違いですね。抜かせないオーラがありました。結果を出せて良かったです。秋に向けていいステップになりましたね。



第144回天皇賞・秋(GI)

2011年10月30日 東京
芝2000m・良(1分56秒1) 3歳以上オープン

トーセンジョーダン(牡5)

●父ジャングルポケット ●母エヴリウィスパ
●母父ノーザンテースト

馬主

島川隆哉

騎手

N.ピンナ

調教師

池江泰寿

生産

ノーザンファーム

N.ピンナ騎手のコメント

伝統のある天皇賞を勝つことができ、とても光栄です。自分にとっても初めてのGI優勝でしたので嬉しいです。馬はとてもよく仕上がっていましたし、完璧に騎乗することができました。



第43回 函館2歳S (GⅢ) ファインチョイス 宮川純造

Junzo Miyakawa

早めの仕掛けで後続を突き放し、
世代最初の重賞勝ち

好位置から強い勝ち方
今後の成長に期待したい

—— ファインチョイス号での函館
2歳S優勝おめでとうございます

宮川純造氏 (以下、宮川) あり
がとうございます。

—— ファインチョイス号を購入さ
れた経緯を教えてください。

宮川 この馬はアドマイヤムーンの
初年度産駒で、個人的にこの種
牡馬はいいんじゃないかなと思っ
ていました。それで北海道の牧場
を回って産駒を探していたのです
が、なかなかこれといった馬に
巡り合えなくて……。そんな時に
北海道にいる古い友人から浦河の
富田牧場の社長を紹介されて、
そこにアドマイヤムーンの産駒が
いるということで、馬を見て購買
を決めました。

—— デビューは7月でした。ご期
待のほどはいかがでしたか？

宮川 デビュー前の5月に育成場
に見に行った時にそこの方から
「この馬走るよ」と言っていただ
き、それなりに走ってくれるの
かなと思いました。

—— 新馬戦後すぐに函館2歳Sへ

第43回 函館2歳S (GⅢ)

2011年8月7日 函館
芝1200m・良(1分10秒8) 2歳オーブ

ファインチョイス (牝2)

●父アドマイヤムーン ●母アフレッター
●母父タイキシャトル



の出走を決められたのですか？

宮川 レース後、口取りの写真撮
影の時に岩田騎手が「函館2歳S
でもいい勝負ができる」と言っ
たので、使うことにしました。
もともと岩田騎手は函館2歳Sで
は都合が合わなくて乗ってもらえ
なかったんですね。

—— 函館2歳Sでは2番人気でし
た。レース前のご期待のほど、ご
感想をお聞かせください。

宮川 レース前に勝てるというほ
どの手応えがあったわけではあり

上村洋行騎手のコメント

追い切りの感触も良かったで
すし、自信を持って臨めまし
た。ステッキを一発も入れて
いませんし、うまい競馬がで
きたと思います。チャンスを
もらって、それに応えられて
嬉しいです。

馬主

宮川純造

騎手

上村洋行

調教師

領家政蔵

生産

富田牧場

ませんでした。向こう正面でい
い位置にいたので、これはいいと
ころには来るかなと。上村騎手が
うまく乗ってくれましたね。いい
勝ち方だと思いました。ただ、
ローカル開催でしたし、これから
まだ強い馬が出てくるのだろうと
は思いましたが。

—— 今後のご期待のほど、展望を
お聞かせください。

宮川 まだまだ心身ともに若い馬
ですから、これからの成長に期待
したいですね。

2012年1月9日 中山 芝1600m・良(1分35秒5) 3歳オープン

第28回 フェアリーS (G III) トーセンベニザクラ(牝3)

●父ダイワメジャー ●母トーセンブリリアン ●母父ホワイトマズル

島川隆哉

Takaya
Shimakawa

馬主

島川隆哉

騎手

津村明秀

調教師

柴崎勇

生産

エスティファーム

津村明秀騎手のコメント

直線で抜け出す時の瞬発力は凄かったです。まだまだ伸びしろもありますし、春が楽しみです。



2012年1月29日 東京ダート1400m・良(1分23秒5) 4歳以上オープン

第26回 根岸S (G III) シルクフォーチュン(牡6)

●父ゴールドアリュール ●母シルクエスペランサ ●母父Alwuhush

有限会社シルク Silk Co.Ltd.

馬主

有限会社シルク

騎手

藤岡康太

調教師

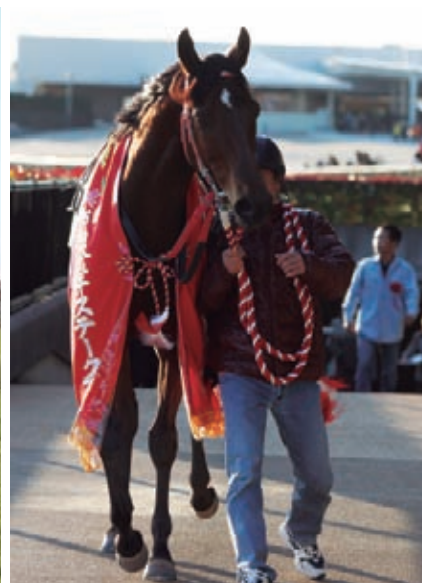
藤沢則雄

生産

中地義次

藤岡康太騎手のコメント

道中は馬が自分から行く気を見せて、抑えるのに苦労したくらいでした。勝てて本当に良かったです。



両津湾特別

2011年8月28日 新潟 ダート1800m・良(1分53秒0) 3歳以上1000万下

ドリームリバイバル(牡6)

●父アゲネスデジタル ●母シルクシャムロック ●母父Irish River

馬主
セゾンレースホース(株)
騎手
中谷雄太
調教師
畠山重則
生産
オリエン牧場



特別競走 優勝馬

2011年8月6日～2012年2月26日

瓢湖特別

2011年9月3日 新潟 芝2400m・良(2分27秒5) 3歳以上500万下

ブレイブビスティー(牡5)

●父キングカメハメハ ●母パロネッセ ●母父Theatrical

馬主
備前島敏子
騎手
田辺裕信
調教師
伊藤大士
生産
松浦牧場



湯浜特別

2011年8月6日 函館 芝1800m・良(1分49秒9) 3歳以上500万下

シルクオフィサー(牡3)

●父マヤトップガン ●母ナイトクルーズ ●母父ノーザンテスト

馬主
有限会社シルク
騎手
安藤勝己
調教師
大竹正博
生産
社台コーポレーション
白老ファーム



新涼特別

2011年9月10日 阪神 ダート1400m・良(1分23秒1) 3歳以上1000万下

ウィキマジック(牡3)

●父ゴールドアリュール ●母シンデレラロード ●母父アジュディケーティング

馬主
宮川純造
騎手
川田将雅
調教師
領家政蔵
生産
石郷岡雅樹



立待岬特別

2011年8月6日 函館 芝1200m・良(1分9秒8) 3歳以上1000万下

シルクウェッジ(牡4)

●父マンハッタンカフェ ●母ローズウォーター ●母父トニービン

馬主
有限会社シルク
騎手
横山典弘
調教師
和田正道
生産
ムラカミファーム



セプテンバーS

2011年9月17日 中山 芝1200m・良(1分8秒2) 3歳以上1600万下

シセイカグヤ(牝5)

●父ネオユニヴァース ●母シーヴィーナス ●母父Dayjur

馬主
猪苗代勇
騎手
田中勝春
調教師
宗像義忠
生産
メイブルファーム



八雲特別

2011年8月7日 函館 芝2000m・良(2分1秒6) 3歳以上1000万下

ポケッタブルゲーム(セ6)

●父ジャングルポケット ●母ゲームコンパイラ ●母父メジロライアン

馬主
蘭部博之
騎手
丸田恭介
調教師
宗像義忠
生産
メイブルファーム



会員優勝馬情報

米山特別

2011年10月22日 新潟 芝1400m・良(1分21秒5) 3歳以上500万下

シルクフラッシュ(牡3)

●父ジャングルポケット ●母シルキーウィズ ●母父エンドスウィープ

馬主
有限会社シルク

騎手

村田一誠

調教師

田島良保

生産

中村農場



大阪スポーツ杯

2011年9月24日 阪神 ダート1400m・良(1分22秒5) 3歳以上1600万下

ウィキマジック(牡3)

●父ゴールドアリュール ●母シンデレラロード ●母父アジュディケーティング

馬主

宮川純造

騎手

川田将雅

調教師

領家政蔵

生産

石郷岡雅樹



精進湖特別

2011年10月30日 東京 芝2000m・良(2分0秒2) 3歳以上1000万下

ミカエルビスティー(牡4)

●父ネオユニヴァース ●母オービーキャット ●母父Storm Cat

馬主
備前島敏子

騎手

三浦皇成

調教師

矢作芳人

生産

ノーザンファーム



サロマ湖特別

2011年10月1日 札幌 芝1200m・稍(1分10秒4) 3歳以上1000万下

ドリームピーチ(牝4)

●父タップダンスシチー ●母ミレニアムクイーン ●母父ブライアンズタイム

馬主

大栄牧場

騎手

西村太一

調教師

二ノ宮敬宇

生産

大栄牧場



赤松賞

2011年11月13日 東京 芝1600m・良(1分34秒5) 2歳500万下

トーセンベニザクラ(牝2)

●父ダイワメジャー ●母トーセンブリリアン ●母父ホワイトマズル

馬主
島川隆哉

騎手

津村明秀

調教師

柴崎勇

生産

エスティファーム



雷光特別

2011年10月15日 新潟 芝1000m・良(55秒7) 3歳以上1000万下

ラルティスタ(牝4)

●父マイネルラヴ ●母セクシーコナッツ ●母父ダンスインザダーク

馬主
有限会社シルク

騎手

丸田恭介

調教師

畠山吉宏

生産

松田三千雄



みちのくS

2011年11月13日 新潟 芝1200m・稍(1分8秒7) 3歳以上1600万下

ドリームバレンチノ(牡4)

●父ローズインメイ ●母コスモヴァレンチ ●母父マイネルラヴ

馬主
セゾンレースホース(株)

騎手

松山弘平

調教師

加用正

生産

ビッグレッドファーム



アイルランドT

2011年10月15日 東京 芝2000m・稍(2分0秒6) 3歳以上オープン

トーセンレーヴ(牡3)

●父ディーブインパクト ●母ビワハイジ ●母父Caerleon

馬主
島川隆哉

騎手

N. ピンナ

調教師

池江泰寿

生産

ノーザンファーム



中山新春ジャンプS

2012年1月8日 中山 障害3200m・良(3分34秒6) 障害4歳以上オープン

トーセンオーパス(セ6)

●父フサイチコンコルド ●母ホールオブフェーム ●母父アレミロード

馬主
島川隆哉
騎手
山本康志
調教師
宗像義忠
生産
ノーザンファーム



北総S

2011年12月10日 中山 ダート1800m・重(1分51秒3) 3歳以上1600万下

トーセンアドミラル(牡4)

●父キングカメハメハ ●母サンデーピクニック ●母父サンデーサイレンス

馬主
島川隆哉
騎手
高倉稜
調教師
加藤征弘
生産
社台ファーム



節分S

2012年1月29日 東京 芝1600m・良(1分34秒1) 4歳以上1600万下

ドリームカトラス(牡5)

●父デュランダル ●母ゴールドリーフ ●母父ダイナガリバー

馬主
セゾンレースホース(株)
騎手
蛭名正義
調教師
佐々木晶三
生産
ビッグレッドファーム



姫島特別

2011年12月10日 小倉 芝1800m・稍(1分48秒4) 3歳以上500万下

トーセンジャガー(牡3)

●父マンハッタンカフェ ●母トーセンザサン ●母父ジェイドロバリー

馬主
島川隆哉
騎手
江田照男
調教師
木村哲也
生産
エスティファーム



洛陽S

2012年2月19日 京都 芝1600m・良(1分34秒1) 4歳以上オープン

トーセンレーヴ(牡4)

●父ディーピンパクト ●母ビワハイジ ●母父Caerleon

馬主
島川隆哉
騎手
T.クウィリー
調教師
池江泰寿
生産
ノーザンファーム



クリスマスローズS

2011年12月24日 中山 芝1200m・良(1分8秒3) 2歳オープン

レオンビスティー(牡2)

●父サクラバクシンオー ●母スパイシークラウン ●母父Tabasco Cat

馬主
備前島敏子
騎手
石橋脩
調教師
矢作芳人
生産
下河辺牧場



金蹄S

2012年2月19日 東京 ダート2100m・良(2分11秒7) 4歳以上1600万下

トーセンアレス(牡5)

●父アドマイヤドン ●母レース ●母父Gulch

馬主
島川隆哉
騎手
横山典弘
調教師
鈴木康弘
生産
ノーザンファーム



初夢S

2012年1月5日 京都 ダート1800m・良(1分52秒0) 4歳以上1600万下

シルクシュナイダー(牡4)

●父アグネスデジタル ●母エポレット ●母父リアルシャダイ

馬主
有限会社シルク
騎手
岩田康誠
調教師
須貝尚介
生産
社台コーポレーション
白老ファーム



福島馬主協会 会員勝馬リスト

2011年8月6日～2012年2月26日

日付	場所	レース名	コース	馬名	性齢	騎手	調教師	馬主
2011年8月7日	函館	未勝利・牝	ダ1700・良	ワニタパンテン	牝3	鈴木	美・小野次	加藤信之
8月13日	新潟	未勝利	芝1400・良	シルクブルックリン	牡2	柴田善	美・上原	有限会社シルク
8月20日	新潟	未勝利	ダ1200・稍	スノウプリンス	牡3	田辺	美・小西	野口弘司
8月20日	新潟	未勝利・牝	芝1800・良	クイーンオリーブ	牝3	中館	美・牧	有限会社シルク
8月20日	新潟	未勝利	芝1000・良	スナン	牝3	北村宏	美・藤沢和	加藤信之
8月21日	札幌	未勝利	ダ1000・良	シルクティソナ	牡2	秋山	栗・山内	有限会社シルク
9月3日	札幌	未勝利	芝1800・稍	ドリームキャプテン	牡2	丸山	栗・中村	セゾンレースホース(株)
9月4日	札幌	未勝利・牝	芝1500・稍	サルバドールピラス	牝2	勝浦	美・伊藤大	則武輝一
9月4日	新潟	500万下	ダ1200・良	シルクファルシオン	牡4	蛭名	美・尾形	有限会社シルク
9月11日	中山	500万下	ダ1200・良	シセイオウジ	牡4	松岡	美・宗像	猪苗代勇
9月17日	中山	500万下	ダ1800・良	カンタベリーダダ	牡3	幸	美・鈴木勝	峰哲馬
9月24日	中山	未勝利	芝1600・良	トーセンベニザクラ	牝2	中館	美・柴崎	島川隆哉
9月25日	札幌	未勝利	ダ1000・良	マイディアソング	牝3	秋山	栗・野村	有限会社シルク
9月25日	中山	500万下	ダ1800・良	サルジュ	牡3	蛭名	美・岩戸	福島実
10月1日	中山	未勝利	ダ1800・良	トーセンビート	牝3	北村宏	美・木村	島川隆哉
10月2日	中山	新馬	ダ1200・良	ジャストフレンズ	牝2	田辺	美・大和田	阿部幸暉
10月8日	東京	未勝利	ダ1300・稍	サンセルマン	牡2	丸山	美・根本	井上修一
10月8日	東京	未勝利	芝1400・良	トーセンピラス	牝2	平野	美・松永康	島川隆哉
10月9日	京都	1000万下	ダ1200・良	トーセンピングス	牡5	太宰	栗・飯田雄	島川隆哉
10月23日	東京	500万下	ダ1600・重	ドリームザネクスト	牡4	田中勝	美・根本	セゾンレースホース(株)
10月29日	東京	500万下	ダ1600・良	シルクグラサージュ	牡3	田辺	美・高木	有限会社シルク
10月30日	東京	未勝利	ダ1400・良	ミルクブロード	牝2	後藤	美・牧	半沢有限会社
11月5日	京都	500万下	芝1400・良	プレノタート	牝2	佐藤	栗・牧浦	有限会社シルク
11月13日	新潟	未勝利	芝1600・稍	フクノハツヒメ	牝2	青木	美・鹿戸雄	福島実
11月13日	新潟	新馬	芝1000・稍	アルファジョイ	牡2	勝浦	美・鈴木康	近藤元子
11月19日	新潟	500万下・牝	ダ1200・稍	アンジュヴォレ	牝3	古川	美・土田	日下部勝徳
11月20日	東京	未勝利	ダ1600・不	アルファウイング	牡2	嶋田	美・田村	(株)貴悦
11月20日	京都	500万下	ダ1200・重	マイディアソング	牝3	秋山	栗・野村	有限会社シルク
11月27日	東京	未勝利	芝1400・良	マウントビスティ	牡2	石橋脩	美・尾形	備前島敏子
12月3日	阪神	1000万下	ダ2000・良	シルクシュナイダー	牡3	岩田	栗・須貝	有限会社シルク
12月10日	小倉	500万下	ダ1700・不	トーセンレラ	牡3	川須	美・加藤征	島川隆哉
12月10日	中山	1000万下	芝2000・稍	ターゲットマシン	牡3	田中勝	美・宗像	蘭部博之
12月17日	中山	未勝利	ダ1200・良	グラスメジャー	牡2	柴田善	美・尾形	半沢有限会社
12月17日	中山	障害・未勝利	ダ2880・良	トーセンオーバス	セ5	横山義	美・宗像	島川隆哉
12月18日	阪神	未勝利	ダ1400・良	レオンビスティ	牡2	小林慎	栗・矢作	備前島敏子
12月18日	小倉	500万下	ダ1000・良	デュークワンダー	牡5	福永	栗・庄野	伊東純一
12月24日	中山	未勝利	ダ1200・良	ドリームコメット	牡2	北村宏	美・尾関	セゾンレースホース(株)
12月25日	阪神	500万下	ダ1200・良	シルクドミニオン	牡5	石橋脩	美・粕谷	有限会社シルク
2012年1月5日	京都	500万下	ダ1200・良	シルクデブレイク	牡5	川島	栗・加用	有限会社シルク
1月9日	中山	未勝利	ダ1200・良	ドリームリーグ	牡3	三浦	美・畠山吉	セゾンレースホース(株)
1月9日	京都	500万下	ダ1900・良	ドリームマジシャン	牡5	幸	栗・宮本	セゾンレースホース(株)
1月9日	中山	1000万下	ダ1200・良	シセイオウジ	牡5	田中勝	美・宗像	猪苗代勇
1月9日	中山	500万下	芝2000・良	ドリームバスケット	牡5	柴田善	美・阿部	セゾンレースホース(株)
1月15日	小倉	500万下	ダ1700・良	サマーティアラ	牝4	柴山	美・田島俊	セゾンレースホース(株)
1月21日	小倉	500万下	ダ1000・稍	トーセンスタッフ	牝4	伊藤工	美・中川	島川隆哉
1月22日	小倉	新馬	芝1800・稍	ノーブリー	牡3	藤岡康	栗・藤岡健	ニッター商事(株)
1月22日	京都	未勝利	芝1600・重	シルクドリーマー	牡3	和田	栗・音無	有限会社シルク
1月28日	小倉	未勝利	芝2000・良	シルクキングリー	牡3	C.デムーロ	栗・岡田	有限会社シルク
1月29日	小倉	未勝利・牝	芝1800・良	サマールナ	牝3	北村友	栗・木原	セゾンレースホース(株)
2月5日	京都	新馬・牝	ダ1200・良	トルサード	牝3	吉田稔	美・武市	有限会社シルク
2月5日	小倉	未勝利	芝2000・良	トーセンホマレボシ	牡3	川須	栗・池江	島川隆哉
2月5日	京都	1000万下	ダ1200・良	シルクデブレイク	牡5	川島	栗・加用	有限会社シルク
2月12日	東京	障害・未勝利	ダ3000・良	ドリームマイスター	牡7	草野	美・畠山吉	セゾンレースホース(株)
2月19日	東京	未勝利	ダ1400・良	シンキングマシーン	牡3	横山典	美・武市	佐藤雄司
2月19日	京都	500万下	ダ1900・稍	トーセンウィーク	牡4	小牧	栗・大久保龍	島川隆哉
2月19日	東京	1000万下	ダ2400・良	バクサ	牡4	武士沢	美・鈴木康	加藤信之
2月25日	中山	1000万下	芝1600・不	ドリームバスケット	牡5	柴田善	美・阿部	セゾンレースホース(株)



平 成24年度定時総会が去る平成24年3月2日(金)、ホテル辰巳屋において開催されました。当日はあいにくの雪模様で交通の便が心配されましたが、出席予定者全員が出席され、すべての議案はいずれも異議無く承認されました。

平成24年度定時総会

定時総会終了後は懇親会が開催され、会員の家族や福島競馬場からは時任場長をはじめ、管理職者の方々が加わり、生演奏が流れる中、終始和やかな雰囲気で歓談が続ぎ、参加者全員の親睦が図られました。



小倉競馬場 視察研修旅行

平

成23年11月25日(金)～27日(日)の日程で会員と家族を含め65名の参加をいただき、小倉競馬場視察研修旅行が実施されました。



25日(金)に参加者全員が羽田空港を出発し山口宇部空港へ到着後、瑠璃光寺を始め、萩市内の観光や萩焼窯元を見学し、長門湯本温泉にて旅の疲れを癒しました。

26日(土)はバスで二路小倉競馬場を目指し、競馬場到着後は皆さんそれぞれ自慢の馬券戦術を展開し競馬観戦を満喫した後、福岡では美味しいふぐ料理に舌鼓を打ち、和気藹々の中、参加者全員が親睦を図りました。

27日(日)は各自自由解散となり参加者全員何事も無く無事に会員研修旅行を終えることができました。

最後に今回の研修旅行では九州馬主協会及び小倉競馬場の関係者の皆様には大変お世話になりました。この場を借りましてお礼を申し上げます。

秋季馬主研修会・ 懇親会



毎年恒例になっております秋季馬主研修会・懇親会は東日本大震災の影響により、平成23年度の福島競馬がすべて中止となったことから、場所を東京帝国ホテルに移して開催したところ、会員と同伴者、関係者で総勢56名の参加をいただき、JRAからは木所康夫

競走部長、吉崎一郎競走部番組企画室長、滝澤康正馬事部獣医課課長補佐の出席をいただき「競走馬の運動疾患と手術」について、滝澤課長補佐からプロジェクターとスクリーンを使った講演をいただきました。

皆さん、最新の医療技術の進歩に感心しながら講演を聴講し、熱心に質問等をされていました。

研修会終了後は、懇親会場で参加者と関係者全員が意見交換や情報交換を行い親睦を図ることができました。

助成金決定通知書 贈呈先一覧

単位:円

平成23年度
中央競馬馬主
社会福祉財団
助成事業

法人名	施設名	要望事項	決定額
社会福祉法人 アイリス学園	アイリス学園	車両整備事業	1,770,000
社会福祉法人 おかやま福祉会	おかやま保育園	通路床面改修事業	3,000,000
社会福祉法人 福島福祉会	緑光園	給油暖房ボイラー整備事業	3,000,000
社会福祉法人 陽光園	大萱荘	給水管更新事業	3,000,000
社会福祉法人 ライフ・タイム福島	ロング・タイム	特殊浴槽購入事業	3,000,000
社会福祉法人 仁愛会	高砂荘	特殊浴槽更新事業	2,730,000
社会福祉法人 明生会	悠々の里	居室エアコン設置事業	3,000,000
社会福祉法人 のびのび福祉会	のびのび保育園	排水設備整備事業	1,230,000

計 ￥20,730,000

福

島競馬場とドイツのバーデン
バーデン競馬場は、交換競
走を1997年から実施しており、
例年、日本では第2回福島競馬開
催時にバーデンバーデンカップ競走
を、ドイツではバーデンバーデン競
馬場において福島トロフィー競走を
施行しています。

人的交流も行われており、これま
でに福島馬主協会の会員がバーデン
バーデン競馬場へ視察に出かけたり、
バーデンレーシングの会員の方が福
島競馬場を訪れています。

昨秋は、バーデンレーシングの会
員であるパトリック・ビルヌさんと
会員夫人のコーネリア・ミナルツさ
んが来日。今回は東日本大震災の
影響により福島競馬場ではなく、
ジャパンカップ当日の11月27日に東
京競馬場を訪れ、レースを観覧さ
れました。

バーデン
レーシング
関係者との交流

さらに昨

年の6月に
は、バーデ
ンレーシン
グから、

『Tombole
(宝くじの一
種)を通じ

て義援金を

集め、東日

本大震災に

よる被害が

甚大な福島

競馬場が所

在する福島市に対して贈りたい』と

の申し出があり、5月28日(土)・29

日(日)のバーデンバーデン競馬開

催日にてくじが発売されました。こ

のくじで合計5390ユーロ(約63

万円)が集められ、全て義援金とし

て福島市に贈られることになりました。



写真は2007年、
福島競馬場訪問時のもの。

本会の委員会及び会議

- H 23** 8月8日 研修委員会
8月25日 広報委員会
9月1日 監査、常務会、役員会、福島競馬場との懇談会
9月9日 福島競馬場震災復旧工事安全祈願祭
10月5日 常務会
10月29日 秋季馬主研修会・懇親会
11月10日 常務会
11月14日 助成金日録贈呈式
11月25日～27日 委員研修旅行
12月9日 常務会、理事会、福島競馬場との懇談会
H 24 1月27日 常務会、役員会
2月9日 広報委員会、常務会
2月28日 常務会
3月2日 定時総会・懇親会
3月3日 災害復興特別委員会

本会が出席した日本馬主協会連合会の委員会及び会議

- H 23** 8月23日 会計担当理事
8月24日 監査
9月21日 企画・予算委員会
9月22日 会計担当理事
10月6日 企画・予算委員会
10月13日 企画・予算委員会
10月19日 社会貢献・広報委員会、緊急企画・予算委員会
10月20日 企画・予算委員会
10月24日 会計担当理事
10月26日 企画・予算委員会
11月17日 企画・予算委員会
11月22日 会計担当理事
11月25日 企画・予算委員会
11月28日 会長会議
12月22日 会計担当理事
H 24 1月17日 総務委員会
1月20日 会長会議
1月23日 公益法人制度検討委員会
1月25日 会計担当理事
1月30日 企画・予算委員会
2月2日 監査
2月24日 会計担当理事
2月27日 会長会議

本会が出席した東日本馬主協議会の委員会及び会議

- H 23** 10月25日 総務委員会
10月28日 預託委員会
11月28日 6単協会長会議
12月3日 預託委員会
12月8日 美浦特別委員会
H 24 2月3日 総務委員会
2月16日 6単協会長会議
2月27日 6単協会長会議

本会が出席した中央競馬馬主社会福祉財団の会議

- H 23** 10月13日 理事会・評議員会
12月16日 理事会・評議員会

本会が出席した中央競馬馬主相互会の会議

- H 23** 10月7日 理事・評議員懇談会
10月14日 理事・評議員懇談会
10月21日 理事・評議員懇談会
10月28日 理事・評議員懇談会
11月18日 理事・評議員懇談会
H 24 2月15日 理事・評議員懇談会

本会が出席したその他の会議等

- H 23** 11月19日 新潟馬主協会役員懇談会
11月25日 ジャパンカップウェルカムパーティー
H 24 1月23日 JRA賞授賞式
2月21日 中京競馬場竣工披露宴

平成23年8月1日～平成24年3月4日

活動報告



むなかた よしまさ

宗像 義正

北海道沙流郡日高町
メイプルファーム代表
平成24年入会

新規入会会員紹介

福島馬主協会の 会員になりませんか？

協会未加入の馬主の方を
ご紹介ください

本会は、中央競馬の馬主の方で、入会を希望される方を募集しております。入会に関しましては、面接審査等がございますが、詳しい手続き方法など、ご質問がございましたら、お気軽に本会事務局（下記参照）までお問い合わせください。お待ちしております

社団法人福島馬主協会

〒960-8114
福島県福島市松浪町9-23

Tel 024-534-1233

Fax 024-531-5517

JRAからのお願い

昨 今、競馬場のウィナーズサークル等で行われている優勝馬の勝馬写真撮影（いわゆる口取り写真）の場に、優勝馬主の知らない者が参加するようなケースが散見されます。

その場の雰囲気やウィナーズサークルの外から中に招き入れられるようなことが大きな要因の一つと思われますが、その結果、馬主自らに関知しないにも関わらず、（その交友関係について）あらぬ疑念を持たれかねない恐れがあります。つきましては馬主の皆様には、改めて下記のとおり適正な運用にご協力いただきますようお願いいたします。

- 勝馬写真撮影への参加は、所定の記章、または各受付で貸与された席章等を佩用した者に限ること。
- 撮影場所であるウィナーズサークルの外から直接立ち入ることは行わず、所定の経路を通行して参加すること。

JRAからのお知らせ 馬主登録取消ガイドラインの改正について

馬 主登録後のチェック体制の整備については、平成21年に「ガイドライン」を設定するとともに会報で皆様にお知らせしたところですが、昨今の各都道府県における「暴力団排除に関する条例」の施行に伴い、社会的な暴力団排除の要請を「ガイドライン」に適正に反映させるべく、必要な見直しを行いました。

競馬施行規程では、馬主が死亡した場合や禁錮以上の刑が確定した時等、馬主登録を取り消す項目を列挙しておりますが、人物面、経済面として次の2点に該当する場合にも馬主登録を取り消すことと定めています。

- 「競馬の公正を害するおそれがあると認めるに足りる相当な理由があることが判明したとき（施行規程第11条第9号）」
- 「調教師に競走馬を継続的に預託することが困難であると認められることとなったとき」（施行規程第11条第6号）」

この定めをなお一層厳格に適用すべく、より具体的なチェック項目を「ガイドライン」のとおり設定していたところですが、今回見直しを行い「人物面」の内容が改正されたことから、改めて皆様にお知らせするものです。

これはすべての中央競馬馬主を対象とするものですが、このような情報を入手した場合、必要に応じて調査、確認を行い、その結果取り消し要件に該当すると判断した場合には、馬主登録を取り消すこととなります。

人物面

【 暴力団員等との交友等 】（ 部分が改正箇所）

- 本会施設内で暴力団員または暴力団関係者と行動を共にしていた事実が判明したとき。
- 馬主または馬主の関与する企業に対し暴力団員または暴力団関係者が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有するとき。
- 馬主が暴力団員または暴力団関係者が経営または実質的にその運営を支配する企業の役員に就任し、または出資する等、経営に参画している事実が判明したとき、またはこうした企業と密接な関係を有していることが判明したとき。
- 馬主または馬主の関与する企業等が暴力団、暴力団員または暴力団関係者に利益供与を行ったことが判明したとき。
- ゴルフ、冠婚葬祭、旅行、会食等、暴力団員または暴力団関係者との交友を窺わせる具体的事実が判明したとき。
- 都道府県の暴力団排除に関する条例に定める勧告を受け、その氏名等を公表され、または罰則を受けたことが判明したとき。

【 競馬の公正確保上、問題があると認められる業種への関与 】

- ブックメーカー、インターネット賭事業を運営又は従事する者又はこうした業者と業務上の関連を有する者となったとき。
- 会員制予想業を運営又は従事する者又はこうした業者と業務上の関連を有する者となったとき。

【 海外競馬関係 】

- 海外の競馬統括機関から馬主登録の取り消し処分がなされたとき。
- 海外で競馬に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられたとき。

【 記章の不正使用 】

- 馬主記章を他人に利用させたり、偽造、変造したとき。

【 その他 】

- 規範意識や遵法精神に著しく欠ける行動が認められたとき。

経済面

【 馬主活動における経済的不安 】

- 賞金や所有馬等が「差押え」となったとき。
- 長期又は度重なって預託料を滞納していることが判明したとき。
- その他安定的な所得を得ていない等、馬主として活動することが可能な経済状況にないとの疑義が生じたとき。

【 馬主が経営する会社 】

- 馬主（法人馬主の代表者および組合馬主の組合員を含む）が経営し、その主たる収入源となっている会社が、倒産状態（会社更生手続きの開始、民事再生手続きの開始、破産手続きの開始決定等）となったことが判明したとき。

【 軽種馬生産者、軽種馬生産法人について 】

- 軽種馬生産活動を行っていないことが判明したとき。
- 軽種馬生産を行っているものの、規模が著しく縮小しているとき。

以上につきまして、馬主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。



ホームページ 開設のお知らせ

本会のホームページが完成いたしました。
下記のアドレスからご覧いただけますのでご利用ください。

<http://www.fukushima-umanushi.jp/>

ご意見をお寄せ下さい

「人馬一体」では、会員の皆様からのご意見、ご要望を随時募集しております。
どんなことでも構いませんので、疑問等がございましたら、
福島馬主協会事務局まで、お知らせください。

社団法人福島馬主協会

〒960-8114 福島県福島市松浪町9の23
TEL 024-534-1233 FAX 024-531-5517

編集後記

福島競馬場の改修工事で驚いたのは、かなり大胆な耐震構造の見直しが行われていたことでした。

目に見える部分では、棟の繋ぎ目部分が建物の内部に凹んだ状態になり、これは一般ファンの皆様もすぐに気づく変更点です。目に見えない点では天井の内部構造が大きく変更されています。これは損傷した階層以外の層にも施されています。

放射性物質の除去作業は今後も続けられますが、放射線量は人馬の健康にまったく影響がないレベルまで下がっています。施設としては、お客様を万全の態勢で迎え入れる、また馬をレースに使っていただくために万全の準備が整っています。

第2特集は、“外厩”についてです。効率良く馬房を回すために、その存在がもはや必要不可欠な存在であることは明白です。ただ、問題点もあり、利用方法にはまだまだ試行錯誤が必要なようでした。

今後も、会員の皆様にとって身近な記事をお届けしたいと考えています。ご意見、ご要望などがありましたら、ぜひお知らせください。

福島馬主協会会報

二〇二二年 春号（通巻二九九号） 二〇二二年三月三十一日発行

編集発行人／広報委員長 長南浩

発行／社団法人 福島馬主協会

福島県福島市松浪町九一二三三 電話（〇二四）五三四一一二三三（直）



【 福島競馬、再開 ― 。 】